

施策評価・進捗管理調書(内部評価結果)

■ 第2次総合計画

基本方針(政策)	1	産業基盤の維持・発展を図るとともに京丹後型「新グリーン経済」を構築します
計画項目(施策)	3	つくり育てる漁業・海業の振興
＜施策分野＞		＜漁業・海業＞

所管部局	所管部局長の氏名
農林水産環境部	吉岡 茂昭

1. 総合計画で掲げている目的など

PLAN

施策の目的	漁業振興、漁村地域の活性化を図る「海業」を振興し、担い手の確保に向けた取り組みを推進します。
施策方針(めざす姿)	つくり育てる漁業の推進によって、安定的な漁獲量の確保を図るとともに、衛生管理された付加価値の高い新鮮で安全なブランド水産物の提供により、漁業経営基盤の安定化と担い手の確保をめざします。また、安全で多面的な利用が可能となる漁港やその周辺整備等により、豊かな海、海岸、漁港の魅力溢れる資源を活かして、漁村地域の活性化を図る「海業」を推進します。

【参考】施策に関連する個別計画

計画名称	計画概要	策定年月	計画期間	備考
第2次京丹後市観光振興計画	第1次計画の検証と見直しを行うことにより、これらの諸課題について対応し、観光立市の実現を目指すべく第2次計画を策定。市、観光関係団体、観光事業者、市民などが観光立市の実現という共通の目標に向かって、それぞれの立場で取り組むものとして位置づけ。	平成25年6月	平成25年度～平成29年度	
京丹後市海業推進事業計画	漁業所得の向上と担い手の確保・育成を目指し、農商工観連携により事業の継続・拡大に向けた取組を推進するため策定。本市の豊かな海を生かし、農商工観連携を強めながら、漁業と併せて、遊漁、海洋レクリエーション、水産物加工、漁業体験などの「海業」を効果的かつ総合的に推進する。	平成27年3月	平成27年度～平成29年度	平成18年度に策定した計画を見直して策定

2. 行政の主な取組と構成事務事業一覧

DO

CHECK

行政の主な取組 ↓	事務事業名称・事業内容(実績)	担当課	予算額(単位:千円)		事務事業の概要					評価結果	
			H26決算額	H27予算額(一般財源)	根拠法令	財政負担	単独事業	事業種別	施策貢献度	今後の方向性	
① 海業推進事業計画の作成 ○本市の豊かな海、海岸、漁港の魅力溢れる資源を活かし、漁村地域の活性化を図る「海業」の推進を図るため、「海業推進事業計画」を作成します。											
1	海業推進事業【再掲】【取組②にも該当】 海業推進事業計画の策定アドバイザー(1人)に対する謝礼等	海業水産課	1,339	1,542(1,542)	なし	単費	○	サービス	A	現状維持	
② 京丹後型「農商工観連携」の推進 ○京丹後型「農商工観連携」の推進により、水産物の地産地消を進め、漁業経営基盤を強化し、漁業所得の向上を図ります。											
2	海業推進事業【取組①にも該当】 水産イベント・PR用パンフレット作成に対し補助金等を交付(3件)、小学生を対象にお魚料理教室を実施(12回、244人)	海業水産課	1,339	1,542(1,542)	なし	単費	○	サービス	A	現状維持	
③ 担い手の確保・育成 ○京都府と連携し、漁村地域の活性化及び海業の次世代人材等の育成を図ります。 京都府海の民学舎(H27.4～)のスタートに向けた協議等を行った(予算を伴わない事業のため、調書には非計上)											
④ 新鮮で安全な水産物の提供 ○消費者の魚離れに対し、魚食普及施策を推進します。 ○トリ貝・カキの養殖被害を防止するため、京都府と連携しながら環境調査等を支援します。 ○自然と調和した内水面漁業を推進します。											
3	内水面漁業振興支援事業 野間、上宇川、京都府の各漁業協同組合が実施するアユ、ウナギ、マス、フナの種類放流に対して補助金を交付	海業水産課	1,070	1,090(701)	府規定	府一部	-	サービス	A	現状維持	
4	漁業振興支援事業 京都府漁協が実施する種苗放流(アサヒ、ササエ、クロダイ、ハマグリ)及びヒラメの中間育成事業に対して補助金を交付	海業水産課	1,401	1,609(1,609)	市規定	単費	○	サービス	A	現状維持	
5	共同利用施設設置事業 「丹後とり貝」養殖の作業性の向上及び就労環境の改善のため洗浄施設整備に対して補助金を交付	海業水産課	316	-	市規定	単費	○	施設整備	A	現状維持	
⑤ 安心して漁業を営むための漁港整備 ○安全で多面的に貢献できる漁港の整備を促進するとともに、周辺整備を進めます。											
6	漁港維持管理事業 漁港施設の維持管理(漁港標識灯修繕、漁業施設の維持管理等)	海業水産課	2,432	1,841(1,841)	義務	単費	○	-	A	現状維持	
7	漁港整備事業 漁港用地の舗装、漁港内泊地等の浚渫工事を実施	海業水産課	10,830	15,800(12,110)	義務	単費	○	-	A	現状維持	
8	特定地域水産物供給基盤整備事業 京都府代行業で実施する間人漁港整備事業費の10%を負担金として支出	海業水産課	8,725	-	市規定	単費	○	施設整備	S	終了・廃止	
9	水産基盤ストックマネジメント事業 漁港施設の長寿命化とライフサイクルコスト削減のための機能保全計画の策定、計画に基づく老朽化対策の実施	海業水産課	-	21,600(5,407)	新規事業						
10	袖志漁港泊地浚渫事業【再編交付金活用事業】 袖志漁港の泊地に砂等が堆積し漁業活動に支障が生じたため泊地内の浚渫を実施	海業水産課	11,025	-	義務	国府全額	-	-	A	終了・廃止	

上記の「行政の主な取組」への位置付けが困難な事業										
11	水産業総務一般経費	海業水産課	1,731	1,460	なし	単費	○	維持管理	A	現状維持
海業関係業務に係る事務経費、施設等の維持管理経費、水産振興関係団体への補助金交付等				(1,460)						
			計	38,869	44,942					
						(24,670)				

【参考】総合計画で掲げている市民等の役割

市民等の役割	① 水産物の衛生管理等、新鮮で安全な水産物の提供に努めます。 ② 漁業者等の所得向上につながる漁業体験事業等の受け皿をつくります。
--------	--

【参考】個別計画で掲げている目標値

指標名	説明・備考	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度	年度	年度	年度		

3. 総合計画で掲げている施策方針(めざす姿)とめざす目標値

施策方針(めざす姿)	つくり育てる漁業の推進によって、安定的な漁獲量の確保を図るとともに、衛生管理された付加価値の高い新鮮で安全なブランド水産物の提供により、漁業経営基盤の安定化と担い手の確保をめざします。また、安全で多面的な利用が可能となる漁港やその周辺整備等により、豊かな海、海岸、漁港の魅力溢れる資源を活かして、漁村地域の活性化を図る「海業」を推進します。							
めざす目標値	指標名	単位	計画作成時		実績値(現状)		目標値	
			年度	年度	年度	年度		
	漁協組合員数	人	240	H26	231	H26	240	H36
	新規就業者数	人	9	H26	14	H26	98	H36
	カニ販売額	百万円	201	H26	198	H26	221	H36
	カキ販売額	百万円	8	H26	15	H26	9	H36
	トリ貝養殖販売額	百万円	13	H26	5	H26	26	H36
海業に係る販売額(釣筏、遊漁船、イベント等)	百万円	16	H26	21	H26	32	H36	

4. 施策方針(めざす姿)に対する現状評価

CHECK

施策方針(めざす姿)に対する主な成果(アウトカム)	施策方針(めざす姿)の達成に向けての課題
○つくり育てる漁業について、種苗放流事業(アワビ、サザエ、クロダイ、ハマグリ)及び中間育成(ヒラメ)事業を支援し、減少傾向にある漁獲量が一定確保できた。 ○3か所の漁港で浚渫工事等を実施し、作業環境の向上・整備を図ることができた。 ○地魚取扱店マップ・体験型観光メニューのパンフレットを作成し、観光客等へPRすることができた。 ○海業を推進するための新たな指針となる海業推進事業計画を策定した(H27.3月)。	○漁業所得を向上させるため、付加価値の高い新鮮で安全なブランド水産物が提供できる生産体制づくりが必要である。 ○老朽化や更新時期が迫る漁港施設の増加に伴い、漁港施設の機能診断や機能保全計画書を策定し、施設の長寿命化とライフサイクルコストの削減を図る必要がある。 ○海の民学舎事業を積極的に支援し、漁業就業者の受入態勢を整える必要がある(研修生が長期実地研修できる漁業現場と定住できる住宅確保の調整等)。 ○農商工観の連携を図りながら、漁業と併せて、遊漁、海洋レクリエーション、水産物加工、漁業体験などを推進する必要がある。

5. 施策の進捗状況の評価[施策方針(めざす姿)の達成に向け、施策がどの程度進捗しているか]

CHECK

進捗状況区分	評価	理由
◎ 予定以上に進んでいる	○	総合計画に掲げる取組について、漁港整備やつくり育てる漁業の取組に加え、平成26年度は、海業を推進するための新たな指針となる海業推進事業計画を策定するとともに、地魚取扱店マップ・体験型観光メニューのパンフレットの作成などの農商工観連携の取組や京都府海の民学舎のスタートに向けた準備を進めるなどの担い手の育成・確保の取組も進めることができた。 また、めざす目標値の進捗状況では、水産物の販売額等については、自然条件に大きく左右されるため判断しづらいが、就業者については、漁業に携わる新規就業者が増加傾向にある。 以上のことから、予定どおり進んでいると判断する。
○ 予定どおり進んでいる		
▲ 少し遅れている		
× 大幅に遅れている		

6. 今後の施策展開と歳出抑制の考え方(平成28～30年度までの3か年の主な取組) **ACT**

区分	No.	具体的内容	説明(特定財源名、補完・代替措置等)
施策展開の考え方	1	水産物の高付加価値化のため、衛生管理型の市場機能を備えた荷捌き所の整備を推進	
	2	水産物の高付加価値化と販路拡大のため、急速冷凍装置等を活用した新たな水産物等の加工を推進	再編交付金事業
	3	漁港施設の機能保全計画に基づき、効率的な機能保全工事等を実施	水産基盤ストックマネジメント事業
	4	海の体験型観光との連携を深め、水産イベントや漁業関係者の団体による海業の取組(海業振興事業)を推進	
歳出抑制(歳入確保)の考え方			

予算科目	06農林水産業費	03水産業費	02水産業振興費	03海業推進事業
細事業名	01 海業推進事業			決算書 P.250
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	③ 漁業・海業の振興
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
1,339千円		1,390千円		51千円
				執行率 (参考) 当初予算額
				96.3 % 1,390千円
目的	海業推進事業計画に基づく海業の取組を推進・支援し、地元水産物の消費拡大・販売促進、農商工親連携等の促進により漁村地域の活性化を図る。			
主要な事務・事業及び成果の概要	<ul style="list-style-type: none"> ○報償費 161千円 京丹後市海業推進事業計画策定アドバイザー（中澤さかな氏） ○旅費 7千円 職員旅費 ○需用費 439千円 お魚料理教室消耗品 340千円 <ul style="list-style-type: none"> ・実施期間 平成26年5月30日～9月26日 ・実施校数 11校（実施回数：12回） ・参加児童数 244人 地魚取扱店MAP印刷製本費（2,000部） 99千円 ○使用料及び賃借料（久美浜ぎょそんセンター会場借上料） 2千円 ○負担金、補助及び交付金 730千円 <ul style="list-style-type: none"> ふるさと海づくり大会負担金 100千円 <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成26年8月3日（日） ・実施場所 伊根町 伊根漁港周辺 ・来場者数 約2,500人 久美浜カキ魚まつり補助金 430千円 <ul style="list-style-type: none"> ・実施日 平成26年12月7日（日） ・実施場所 久美浜 京都府漁業協同組合湊支所周辺 ・来場者数 約3,000人 海業振興事業補助金 200千円 <ul style="list-style-type: none"> ・海の体験型観光（とび丸タクシー）PR用パンフレットの作成 20,000部 			
主な財源	繰入金	ふるさと応援基金繰入金	178千円	
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○小学生を対象とした「お魚料理教室」の開催により、地元水産物による魚食啓発が図れた。 ○地魚取扱店マップを作成し、観光客等に地魚をPRすることができた。 ○漁業者と観光業者が連携をして取組んでいる体験型観光メニューである「とび丸タクシー」を広くPRするためのパンフレットを作成し、京阪神からの利用者の拡充を図った。 			
事業所管課	農林水産環境部／海業水産課			

予算科目	06農林水産業費	03水産業費	02水産業振興費	01内水面漁業振興支援事業																																	
細事業名	01 内水面漁業振興支援事業			決算書 P.248																																	
総合計画	基本方針 I 交流経済都市		計画項目	③ 漁業・海業の振興																																	
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)																																	
1,070千円		1,084千円		14千円																																	
				執行率 (参考) 当初予算額																																	
				98.7 % 1,084千円																																	
目的	漁業協同組合が実施する種苗放流事業を支援し、河川等の水産資源の増殖・確保により、内水面漁業の振興を図る。																																				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>野間川、宇川及び離湖における自然環境の保全と水産資源の増殖・確保を目的として、野間漁業協同組合、上宇川漁業協同組合、京都府漁業協同組合網野支所が、アユ、ウナギ、マス、フナの種苗放流事業を実施した取り組みに対して、種苗の購入費を対象とした補助金を交付した。</p> <p>○河川種苗放流事業補助金（事業費の2/3以内の額を補助） 1,070千円</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; text-align: center;"> <tr> <td>実施団体</td> <td>野間漁業協同組合</td> <td>上宇川漁業協同組合</td> <td>京都府漁業協同組合網野支所</td> </tr> <tr> <td>実施場所</td> <td>野間川</td> <td>宇川</td> <td>離湖</td> </tr> <tr> <td>事業費</td> <td>1,788千円</td> <td>633千円</td> <td>151千円</td> </tr> <tr> <td>補助金</td> <td>719千円</td> <td>282千円</td> <td>69千円</td> </tr> <tr> <td rowspan="4">放流魚種</td> <td>アユ</td> <td>50,000尾</td> <td>22,000尾</td> </tr> <tr> <td>ウナギ</td> <td>1,000尾</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>マス類</td> <td>5,000尾</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>フナ</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>組合員数</td> <td>76人</td> <td>60人</td> <td>内水面のみ 58人</td> </tr> </table>				実施団体	野間漁業協同組合	上宇川漁業協同組合	京都府漁業協同組合網野支所	実施場所	野間川	宇川	離湖	事業費	1,788千円	633千円	151千円	補助金	719千円	282千円	69千円	放流魚種	アユ	50,000尾	22,000尾	ウナギ	1,000尾	—	マス類	5,000尾	—	フナ	—	—	組合員数	76人	60人	内水面のみ 58人
実施団体	野間漁業協同組合	上宇川漁業協同組合	京都府漁業協同組合網野支所																																		
実施場所	野間川	宇川	離湖																																		
事業費	1,788千円	633千円	151千円																																		
補助金	719千円	282千円	69千円																																		
放流魚種	アユ	50,000尾	22,000尾																																		
	ウナギ	1,000尾	—																																		
	マス類	5,000尾	—																																		
	フナ	—	—																																		
組合員数	76人	60人	内水面のみ 58人																																		
主な財源	府補	内水面漁業振興対策事業費補助金（1/3以内）	389千円																																		
評価・課題等	<ul style="list-style-type: none"> ○種苗放流を支援することで、自然環境の保全・河川資源の維持・増殖が図られ、水辺のレジャーの振興及び漁業活動の安定に寄与した。 ○漁業協同組合の組合員数の減少に伴い、魚道を含む河川の漁場管理が困難になってきているため、河川等の漁場環境の整備に対して支援を行う必要がある。 																																				
事業所管課	農林水産環境部／海業水産課																																				

予算科目	06農林水産業費	03水産業費	02水産業振興費	02漁業振興支援事業		
細事業名	01 漁業振興支援事業			決算書	P.250	
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	③ 漁業・海業の振興		
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)	
1,401千円		1,401千円		0千円	100.0%	
				(参考) 当初予算額	1,613千円	
目的	種苗放流事業及び中間育成（ヒラメ）事業を継続的に支援し、減少傾向にある海洋水産物の漁獲量を向上させる。					
主要な 事業 及び 成果 の 概要	海洋水産資源の増殖・確保を図り、漁業者の経営安定及び所得向上を目的として、京都府漁業協同組合が実施するアワビ、サザエ、クロダイ、ハマグリ種の種苗放流事業の取り組みに対し補助金を交付した。また、「つくり育てる漁業」を推進するため、京都府漁業協同組合が久美浜栽培漁業センターで実施するヒラメの中間育成事業に補助金を交付した。					
	○種苗放流事業補助金（事業費の1/2以内の額を補助） 1,221千円					
	実施団体	京都府漁業協同組合				
		丹後支所	網野支所	湊支所		
	実施場所	日本海	日本海	日本海・久美浜湾		
	補助対象事業費	609千円	852千円	1,237千円		
	補助金	285千円	318千円	618千円		
	放流魚貝種	アワビ	10,800個	11,300個	-	
		サザエ	10,600個	22,400個	34,800個	
		クロダイ	-	-	20,000尾	
ハマグリ		-	-	120kg		
○中間育成事業（ヒラメ）補助金（事業費の2/3以内の額を補助） 180千円						
実施団体	京都府漁業協同組合湊支所	事業費	270千円			
実施場所	久美浜栽培漁業センター	補助金	180千円			
放流場所	久美浜湾	対象魚種	ヒラメ 7,000尾			
主な財源						
評価・課題等	種苗放流事業及び中間育成（ヒラメ）事業を継続的に実施することで、一定の漁獲量が確保できた。					
事業所管課	農林水産環境部／海業水産課					

予算科目	06農林水産業費	03水産業費	02水産業振興費	04共同利用施設設置事業		
細事業名	01 共同利用施設設置事業			決算書	P.250	
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	③ 漁業・海業の振興		
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)	
316千円		316千円		0千円	100.0%	
				(参考) 当初予算額	0千円	
目的	京都府漁業協同組合が実施する共同利用施設設置事業を支援し、漁業活動の効率化と生産性の向上を図る。					
主要な 事業 及び 成果 の 概要	「丹後とり貝」養殖における作業性の向上及び就労環境の改善を図るため、京都府漁業協同組合（湊支所）が実施した洗浄施設整備に対し補助金を交付した。					
	○共同利用施設設置事業補助金					
	・とり貝養殖洗浄施設設置事業補助金					
	事業主体：京都府漁業協同組合（湊支所）					
	事業内容：高圧洗浄機 1台					
	設置場所：久美浜町鹿ヶ谷（久美浜湾）					
	補助金額：316千円（総事業費：1,026千円）					
	補助率：補助対象経費の1/3以内（府直接補助：1/3以内）					
	主な財源					
	評価・課題等	「丹後とり貝」養殖に欠かせない養殖カゴ（コンテナ）の洗浄作業施設を整備したことで、作業効率の向上と就業環境の改善が図られた。				
事業所管課	農林水産環境部／海業水産課					

予算科目	06農林水産業費	03水産業費	03漁港管理費	01 漁港維持管理事業	
細事業名	01 漁港維持管理事業			決算書	P.250
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	③ 漁業・海業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
2,432千円		2,666千円		234千円	
				執行率	(参考)当初予算額
				91.2%	1,962千円
目的	老朽化等により劣化した漁港施設の維持補修及び管理を行い、漁業者の安心安全な漁業活動を確保する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>漁船が安全に航行するために必要な漁港標識灯の修繕や漁業活動に支障のある漁業施設の維持補修を実施した。</p> <p>また、浅茂川漁港環境用地の維持管理及び間人漁港の指向灯の点検業務を実施した。</p> <p>○需用費（修繕料） 1,621千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・袖志漁港堆積土砂除去 299千円 ・浜詰漁港標識灯修繕 159千円 ・蒲井漁港標識灯修繕 173千円 ・旭漁港波留板修繕 107千円 ・旭漁港泊地土砂撤去修繕 18千円 ・蒲井漁港標識灯修繕 259千円 ・三津漁港流木撤去 86千円 ・砂方漁港船揚場修繕 102千円 ・此代船揚場修復 200千円 ・竹野漁港の補修に係る補足材 43千円 ・砂方漁港船揚場前面泊地浚渫 141千円 ・蒲井漁港グレーチング修繕 34千円 <p>○委託料 811千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・漁港区域管理委託料（浅茂川漁港区域内草刈等業務委託） 122千円 ・間人漁港指向灯保守点検業務委託料 216千円 ・海岸漂着物回収処理委託料 473千円 （旭漁港、三津漁港、浅茂川漁港） 				
主な財源	使用料	漁港施設使用料			98千円
評価・課題等	<p>○緊急性のある漁港施設の維持修繕を実施したことで、漁業者の安心安全な漁業活動が維持できた。</p> <p>○漁港内の安全性の確保及び漁業活動を維持するため、必要性・緊急性を考慮し維持管理を実施する必要がある。</p>				
事業所管課	農林水産環境部／海業水産課				

予算科目	06農林水産業費	03水産業費	03漁港管理費	02漁港整備事業	
細事業名	01 漁港整備事業			決算書	P.250
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	③ 漁業・海業の振興	
決算額	①	最終予算額	②	不用額	(②-①)
10,830千円		10,855千円		25千円	
				執行率	(参考)当初予算額
				99.7%	3,399千円
目的	漁港施設をより効果的に利用するための整備を行い、安心安全で効率的な漁業活動を確保する。				
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>船舶の航路及び泊地の浚渫を実施することで作業環境の向上が図れた。また、経年劣化により陥没・段差のあった作業用地を舗装修繕することにより漁業者の安心・安全な漁業活動に必要な作業環境の整備が図れた。</p> <p>○工事請負費 10,830千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・三津漁港泊地浚渫工事 1,114千円 浚渫土量 (V=184.0m³) ・浜詰漁港航路浚渫工事 7,213千円 浚渫土量 (V=938.0m³) ・旭漁港用地舗装修繕工事 2,503千円 アスファルト舗装 (A=511m²) 				
主な財源	分担金	漁港整備事業分担金(5%)			541千円
評価・課題等	<p>○漁業活動の支障となっていた堆積土砂を撤去することで、航路及び泊地の安全を確保し漁業環境の改善に繋がった。</p> <p>○市の管理漁港内における土砂等の堆積を防ぐため、計画的に各漁港の浚渫を実施する必要がある。</p>				
事業所管課	農林水産環境部／海業水産課				

予算科目	06農林水産業費	03水産業費	04水産基盤整備事業費	01特定地域水産物供給基盤整備事業																																
細事業名	01 特定地域水産物供給基盤整備事業			決算書 P.250																																
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	③ 漁業・海業の振興																																
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)																																
8,725千円		8,725千円		0千円																																
			執行率	(参考)当初予算額																																
			100.0%	8,000千円																																
目的	府代行事業により漁港の整備を行うことで、漁港内の静穏性を確保するとともに、漁業活動の安全性及び漁港機能の向上を図り、円滑な利用に資する。																																			
主要な 事務・ 事業及 び成果 の概要	<p>京都府代行で実施された（第二種漁港）間人漁港整備事業に対し、事業費の10%を負担金として支出した。</p> <p>また、全体事業費が確定したことに伴い分担金に返還金が生じたことで、一部の受益者分担金を返還した。</p> <p>○特定地域水産物供給基盤整備事業負担金 8,000千円</p> <ul style="list-style-type: none"> ・防波護岸嵩上げ (L=100.0m) ・道路工 (L=350.0m) (事業費：80,000千円×10%) ・用地整備 (A=2,700㎡) <p>○間人漁港府代行整備事業に係る受益者分担金の返還金（精算） 725千円</p>																																			
	<div style="border: 1px solid black; border-radius: 15px; padding: 10px;"> <p>※参考：全体事業計画（平成14～26年度）</p> <table style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td>防波護岸新設</td> <td>L= 336.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>中防波堤新設</td> <td>L= 20.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>防波堤改良</td> <td>L= 125.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>岸壁新設</td> <td>L= 267.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>岸壁改良</td> <td>L= 88.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>船揚場改良</td> <td>L= 22.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>道路新設</td> <td>L= 550.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>道路改良</td> <td>L= 320.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>道路護岸新設</td> <td>L= 90.0m</td> <td></td> </tr> <tr> <td>漁港施設用地</td> <td>A= 3,500㎡</td> <td>全体計画事業費</td> </tr> <tr> <td>泊地浚渫</td> <td>A= 5,000㎡</td> <td>2,733,480千円</td> </tr> </table> </div>				防波護岸新設	L= 336.0m		中防波堤新設	L= 20.0m		防波堤改良	L= 125.0m		岸壁新設	L= 267.0m		岸壁改良	L= 88.0m		船揚場改良	L= 22.0m		道路新設	L= 550.0m		道路改良	L= 320.0m		道路護岸新設	L= 90.0m		漁港施設用地	A= 3,500㎡	全体計画事業費	泊地浚渫	A= 5,000㎡
防波護岸新設	L= 336.0m																																			
中防波堤新設	L= 20.0m																																			
防波堤改良	L= 125.0m																																			
岸壁新設	L= 267.0m																																			
岸壁改良	L= 88.0m																																			
船揚場改良	L= 22.0m																																			
道路新設	L= 550.0m																																			
道路改良	L= 320.0m																																			
道路護岸新設	L= 90.0m																																			
漁港施設用地	A= 3,500㎡	全体計画事業費																																		
泊地浚渫	A= 5,000㎡	2,733,480千円																																		
主な財源	分担金	漁港整備事業分担金（5%）	400千円																																	
	諸収入	過年度特定地域水産物供給基盤整備事業負担金返還金	725千円																																	
	市債	特定地域水産物供給基盤整備事業債（過疎対策債）	7,600千円																																	
評価・課題等	<p>○平成26年度をもって、全事業が完了し、漁業者が安心安全で効率的な漁業活動を営む環境を整備することができた。</p> <p>○事業の完了に伴い、施設の維持修繕を市で実施していく必要がある。</p>																																			
事業所管課	農林水産環境部／海業水産課																																			

事業名称	再編交付金活用事業	
	個別事業名	決算額
06	袖志漁港泊地浚渫事業	11,025千円
決算額の内訳	15 工事請負費	袖志漁港泊地浚渫工事 11,025千円
主要な 事務・ 事業及 び成果 の概要	<p>漁船の安全を図るため、砂が漂着し水深が浅くなっている泊地内の浚渫を行った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・袖志漁港泊地浚渫工事 浚渫土量 (V=1,153m³) 	
事業所管課	農林水産環境部／海業水産課	

予算科目	06農林水産業費	03水産業費	01水産業総務費	50水産業総務一般経費
細事業名	01 水産業総務一般経費			決算書 P.248
総合計画	基本方針	I 交流経済都市	計画項目	③ 漁業・海業の振興
決算額	①	最終予算額	②	不用額 (②-①)
1,731千円		1,764千円		33千円
			執行率	(参考) 当初予算額
			98.1 %	1,720千円
目的	<p>経常経費及び関係団体への負担金を支出し、水産業務を円滑に推進することで、漁業振興を図る。</p>			
主要な事務・事業及び成果の概要	<p>水産業務の円滑な推進を図るため、市が管理する施設や公用車の維持管理経費を支出した。また、研修、要望活動及び漁業振興のため、水産振興関係団体へ負担金、補助金を支出した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ○旅費 107千円 <ul style="list-style-type: none"> 職員旅費 ○需用費 1,124千円 <ul style="list-style-type: none"> 事務消耗品、公用車燃料代、公用車車検・修繕 659千円 久美浜栽培漁業センター光熱水費 465千円 ○役務費 110千円 <ul style="list-style-type: none"> 公用車車検代行手数料、建物共済・公用車共済分担金 公用車自賠責保険料 ○負担金、補助及び交付金 383千円 <ul style="list-style-type: none"> 京都府漁港漁場協会負担金 353千円 京都府漁業士会補助金 30千円 ○公課費 7千円 <ul style="list-style-type: none"> 公用車重量税 			
主な財源				
評価・課題等	<p>○施設や公用車を適正に維持管理することで、水産業務を円滑に推進することができた。 ○水産関係団体へ負担金及び補助金を支出することにより、研修、要望活動及び漁業振興等の活動が実施され、漁業振興に寄与することができた。 ○公共施設見直し計画に基づき、久美浜栽培漁業センターの移譲について関係団体と協議する必要がある。</p>			
事業所管課	農林水産環境部／海業水産課			